

「課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業」  
グローバル展開プログラム最終評価結果表

課題	C: グローバル人文学: 日本文学・芸術・思想の普遍性の探求
研究テーマ名	道元の世界観: 分析アジア哲学的アプローチ
研究代表者	出口 康夫
所属機関・部局・職	京都大学・文学研究科・教授
研究成果の総合評点: B	
研究成果に係る所見	
<p>これまで日本の哲学のグローバルな研究は少なく、「道元の世界観: 分析アジア哲学的アプローチ」は興味深い研究である。しかし、もともと本研究は分析アジア哲学の手法を用いて、道元の世界観に準拠して、哲学の最前線を切り拓く洞察を導いたり、突破口を開くという気宇壮大な目的を立てていたが、残念ながらその成果はほとんど見えてこない。また、海外の研究者も協力しているが、ほとんどアメリカの研究者で、アジアの研究者の参加が十分ではなく、「分析アジア哲学的アプローチ」のグローバル展開にはやや不足の側面がある。さらに研究発表については、今後の執筆はあるのかもしれないが、現時点までの成果発信の量はあきらかに見劣りがする。</p>	

※ 「研究成果の総合評点」に対する標語は下記のとおり。

- S. 研究目的に照らして、期待以上の成果があった
- A. 研究目的に照らして、期待どおりの成果があった
- B. 研究目的に照らして、十分ではなかったが一応の成果があった
- C. 研究目的に照らして、十分な成果があったとは言い難い